

授業科目名 (ナンバリングコード)	身体科学論特講演習(身体機能論)	授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	與谷 謙吾			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	—	受け入れ人数	—
授業の概要 及び達成目標	本演習では、身体運動に関わる神経-筋機能の分野を中心に、それを評価する方法について国外の文献抄読を通じて理解を深める。また、プレゼンテーションを繰り返しながら研究の方向性を確立し、科学的なアプローチが行えることを目指す。				
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 学期末試験の成績(%) ■授業への取り組み状況(100%) <input type="checkbox"/> レポート等の提出状況(%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	担当する発表の内容、質疑応答、課題等の提出状況を加味して総合評価する。				
テキスト、教材 参考書	資料：適宜配布する。				
履修条件・ 関連科目	解剖生理学、運動生理学、バイオメカニクスの基礎知識を 備えていること。	備考(教員メッ セージ含む)	履修に関しては、事前に相談のこと。		
オフィス・アワー	與谷：随時(事前にメールで連絡を頂ければ有難いです) 研究棟3階 306研究室 yotani@nifs-k.ac.jp				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	與谷 謙吾	オリエンテーション(授業の説明と発表内容・順番の確認)		発表者は次回のプレゼン資料を確認し、まとめる (1時間)	
2	〃	随意運動に伴う神経-筋機能に関する英文抄読の発表会①		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
3	〃	随意運動に伴う神経-筋機能に関する英文抄読の発表会②		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
4	〃	随意運動に伴う神経-筋機能に関する英文抄読の発表会③		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
5	〃	随意運動に伴う神経-筋機能に関する英文抄読の発表会④		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
6	〃	随意運動に伴う神経-筋機能に関する英文抄読の発表会⑤		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
7	〃	運動学習に伴う神経-筋機能の適応に関する英文抄読の発表会①		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
8	〃	運動学習に伴う神経-筋機能の適応に関する英文抄読の発表会②		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
9	〃	運動学習に伴う神経-筋機能の適応に関する英文抄読の発表会③		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
10	〃	運動学習に伴う神経-筋機能の適応に関する英文抄読の発表会④		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
11	〃	外部刺激(光)に伴う神経系の応答に関する英文抄読の発表会①		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
12	〃	外部刺激(音)に伴う神経系の応答に関する英文抄読の発表会②		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
13	〃	外部刺激(電気)に伴う神経系の応答に関する英文抄読の発表会③		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
14	〃	外部刺激(磁気)に伴う神経系の応答に関する英文抄読の発表会④		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	
15	〃	外部刺激(仮想現実-視覚)に伴う神経系の応答に関する英文抄読の発表会⑤		発表者はパワーポイントを作成し、本演習で得た 情報を整理する。(2時間)	